

2018（平成 30）年度

日本英文学会九州支部 第 2 回編集委員会議事録

日 時：2018（平成 30）年 10 月 20 日（土） 午前 10 時～11 時

場 所：九州女子大学 弘明館 4 階会議室 B401

<編集委員会規定、編集委員名、前回議事録確認>

前回議事録確認。

議事：

1. 『九州英文学研究』第 34 号（支部統合号 Vol. X）の刊行について
早瀬編集委員長より『九州英文学研究』第 34 号（支部統合号 Vol. X）の刊行について説明がなされた。2018 年 1 月 20 日刊行。一般投稿 11 編(英文学 4 編、米文学 7 編)、懇談論文 3 編（英文学 2 編、英語学 1 編）で、総計 14 編の投稿があった。英文学 2 編（共に懇談論文）、米文学 2 編、英語学（懇談論文）1 編、計 5 編を掲載。学会賞（「優秀論文賞」「奨励賞」）の受賞はなし。
2. 『九州英文学研究』第 35 号（支部統合号 Vol. XI）について
早瀬編集委員長より『九州英文学研究』第 35 号（支部統合号 Vol. XI）について報告がなされ、すべて承認された。一般論文 11 編（英文学 3 編、米文学 6 編、英語学 2 編）、懇談論文は 1 編（英文学 1 編）、総計 12 編の投稿があった。審査の結果、英文学 1 編（懇談論文）、米文学 1 編を採用、米文学 1 編、英語学 1 編を条件付採用、米文学 1 編を再審査、英文学 3 編、米文学 3 編、英語学 1 編が不採用となった。再審査の結果、米文学 1 編は不採用となった。その結果、英文学 1 編（懇談論文）、米文学 2 編、英語学 1 編、計 4 編の掲載となった。
3. 九州支部学会賞（「優秀論文賞」、「奨励賞」）の審査について
早瀬編集委員長より学会賞選考に関して報告がなされ、承認された。九州支部学会賞の基準にそって審議した結果、今回は、「優秀論文賞」、「奨励賞」ともに該当者なしとなった。なお、1 編の論文が「奨励賞」候補になったが、授与条件（年齢：応募時に満 37 歳未満）を満たしていないため、残念ながら、奨励賞授与には至らなかった。
4. 「招待発表者」ならびに懇談について

山田支部長より懇懇に関する報告がなされた。第71回支部大会では、イギリス文学部門（園田暁子氏、池園宏氏）、アメリカ文学部門（藤野功一氏）、英語学部門（松村瑞子氏）の4名の招待発表をお願いした。

招待発表では、少なくとも2名の編集委員が発表を聞き、懇懇論文を依頼するかどうかを判断する。懇懇が決まれば、各部門の編集委員長、副編集委員長より依頼する。懇懇論文投稿の打診を受けた執筆者でも、一般論文として応募すれば、一般論文として扱い審査を受けることができる。ただし、上記の懇懇論文に関わる要件は、招待発表の内容に基づいた論文を他誌に投稿することを妨げるものではないことも確認された。

また、来年度の学会においても、招待発表を依頼する。さらに、招待発表者に対して来年度も（懇懇論文を依頼するかどうかの判断を行ったのち）懇懇論文を依頼する。編集委員は、懇懇論文であっても審査されることを前もって招待発表者に伝える。また、一般発表についても編集委員から広く論文投稿を促し、『九州英文学研究』の充実を図る申し合わせが確認された。

5. 支部大会統合プロシーディングズについて

渡部書記より以下の報告がなされた。今年度のプロシーディングズは2018年9月15日に刊行された。九州支部の掲載分量は46ページとなり、7支部中最大の枚数となった。要領に関しては今後も例年通りの方法を踏襲することが承認された。なお、投稿率は62.5パーセントであることが報告された。

また、プロシーディングズ編集に関して、渡部書記より、投稿者に以下の点を周知する必要性が報告された。(1)投稿規定の遵守を促すこと。(2)シンポジウム代表責任者への通知を徹底すること。(3)学生の積極的な投稿を促すこと。(4)メールアドレスの変更がある場合の連絡通知を徹底すること。(5)校正修正に関する通知を徹底すること。

6. 来年度の支部大会について

山田支部長より、来年度の九州支部大会は熊本県立大学で2019年10月26日（土）、27日（日）に開催されることが報告された。開催校責任者：虹林慶氏（熊本県立大学）。

7. 次期編集委員長の選考について

山田支部長より次期編集委員長の選考が提議された。来年度は、過去の慣例に従った順番により、英文学部門から委員長が選出されることが提案され、了承された。英文学部門の編集委員は、後日、委員長の名前を報告することとなった。

8. その他

(1) 大会発表要項改定—シンポジウム関係

早瀬編集委員長から発表要項を一部改訂する案が発議され、議論した。その結果、大会発表要項改定として、シンポジウムの希望は前年度の2月末日までに支部事務局に概要を伝えて頂き、編集委員会で審議することとなった。一部門から複数シンポジウムの希望が出た場合には、状況に応じて検討することが確認された。

(2) 論文投稿規定改定—奨励賞関係

早瀬編集委員長から論文投稿規定を一部改定する案が発議された。改正は奨励賞審査のための手順であり、予め事務局が投稿者の生年月日を確認することが承認された。

-----出席者 13 名、欠席者 3 名（敬称略、部門別五十音順、事務局 3 名含まず）-----

鵜飼 信光（英文学）	岡本 太助（米文学）
後藤 美映（英文学）	高野 泰志（米文学）
小林 潤司（英文学・副編集委員長）（欠・委任状）	高橋 勤（米文学）
虹林 慶（英文学）	竹内 勝徳（米文学）（欠・委任状）
宮原 一成（英文学）	早瀬 博範（米文学・編集委員長）
大和 高行（英文学）	

大橋 浩（英語学・副編集委員長）
西岡 宣明（英語学）
福田 稔（英語学）
松元 浩一（英語学）（欠・委任状）
山田 英二（英語学・支部長）

秋好 礼子（事務局）
鶴田 学（事務局、議事録担当）
渡部 智也（事務局、プロシーディングズ担当）

出席者総計 15 名（事務局 3 名含む）

2018（平成30）年度
日本英文学会九州支部 理事会・評議員会議事録

日 時：2018（平成30）年10月20日（土） 午前11時08分～12時18分
場 所：九州女子大学 弘明館 4階会議室 B401

理事会・評議員会に先立ち、出席者の簡単な自己紹介を行なった。

議事：

1. 活動報告

秋好事務局長より今年度の活動に関して、支部大会、『九州英文学研究』の刊行、『大会 Proceedings』の刊行を例年通り行う旨の報告がなされた。昨年度の大会及び今年度の活動は以下の通り。

第70回支部大会（2017年10月21日・22日）長崎大学 研究発表19件（英文9、米文3、英語学7）（注：シンポジウム・特別講演は含まず）

理事会・評議員会（2017年10月21日）

編集委員会（2017年度第2回2017年10月21日、2018年度第1回2018年7月28日、2018年度第2回2018年10月20日）

第71回支部大会（2018年10月20・21日）九州女子大学 研究発表17件（英文5、米文5、英語学7）（注：シンポジウム・特別講演は含まず）

山田支部長より、2013年から2018年の6年間での発表者数の推移は「27-25-20-21-19-17」というように減少傾向にあり、5年前から比べると27から17でほぼ2/3になっている。発表者を増やす方策を考えるべき、とコメントがあった。

2. 会計報告

秋好事務局長より、別紙の会計報告書（資料②）に基づき前年度会計報告がなされた。園田暁子氏より、会計監査確認の旨の報告があり、承認された。また、今年度会計の中間報告が資料③に基づき秋好事務局長より報告され、承認された。

さらに、来年度（2019年度）の予算案が資料④に基づき報告され、承認された。

- (1) 2017年度会計報告、監査報告
- (2) 2018年度中間報告
- (3) 2019年度予算案

3. 統合号出版経費負担について

秋好事務局長より、出版経費負担に関して以下の報告があった。

- (1) プロシーディングス分担金（本部より連絡待ち）（昨年度は97,903円（48頁））
- (2) 支部大会資料統合版分担金 0円
- (3) 英文学研究支部統合版第11号 未定（第10号は104,324円（54頁））

4. 編集委員会報告

- (1) 『九州英文学研究』第34号について

早瀬編集委員長より『九州英文学研究』第34号について報告があった。

2018年1月20日刊行。一般投稿11編（英文学4編、米文学7編）、懇談論文3編（英文学2編、英語学1編）で、総計14編の投稿があった。英文学2編（共に懇談論文）、米文学2編、英語学（懇談論文）1編、計5編を掲載。学会賞（「優秀論文賞」「奨励賞」）の受賞はなし。

- (2) 『九州英文学研究』第35号について

早瀬編集委員長より『九州英文学研究』第35号について報告があった。
一般論文11編(英文学3編、米文学6編、英語学2編)、徳憑論文は1編(英文学1編)
総計12編の投稿があった。審査の結果、英文学1編(徳憑論文)、米文学1編を採
用、米文学1編、英語学1編を条件付採用、米文学1編が再審査となった。再審査の
結果、米文学1編は残念ながら、不採用となった。その結果、英文学1編(徳憑論文)、
米文学2編、英語学1編、計4編の掲載となった。

(3) 学会賞について

九州支部学会賞の基準にそって審議した結果、今回は、「優秀論文賞」「奨励賞」と
もに該当者なしとなった。なお、1編の論文が「奨励賞」候補になったが、授与条件
(年齢)を満たしていないため、残念ながら、奨励賞授与には至らなかった。

(4) その他

a. 次期編集委員長について

過去の慣例から英文学部門の委員から選出することが編集委員会で
決まったことが山田支部長から報告された。

b. 大会発表要項について

大会発表要項改定—シンポジウムの希望は2月末日までに支部事務局に
伝えることが編集委員会で決められた。

c. 論文投稿規定について

論文投稿規定改定—奨励賞審査のため投稿者の経歴・年齢を確認する方針
となった。文言に関しては後日メールで承認。

5. 評議員校について

評議員校として福岡工業大学を追加することが承認された。新規評議員校は会員3名以
上を目安とし、福岡工業大学はそれを満たしている。

九州大学は伊都キャンパスに統合されたことを受けて、一つの評議員校とすること
になった(九州大学から選ばれる評議員数は1名とする)。

6. 次期支部長、事務局について

山田支部長より、次期支部長と事務局について下記の提案があり、異議なく承認された。
次期支部長：大橋浩先生(九州大学)(事務局注：次期支部長は、日本英文学会の次期
九州支部選出理事候補となる。)

次期事務局：調整中(次期支部長に一任)

7. 2020年全国大会(九州支部担当)について

山田支部長より、九州支部が担当となる2020年度全国大会について報告があった。

2020年5月16日、17日、琉球大学にて開催予定

開催校責任者：石原昌英先生(琉球大学)

8. 来年度(2019年度)の全国大会、及び、支部大会の開催大学について

山田支部長より、来年度の全国大会、九州支部大会について報告があった。

全国大会は、安田女子大学(広島市)(2019年5月25日、26日)

支部大会は、熊本県立大学(2019年10月26日、27日)

9. 理事名、評議員名、編集委員名

評議員名簿、理事名簿、編集委員名簿を確認した。

10. 理事選挙について

本年度は2年に一度の理事改選の年。投票締め切りは11月15日。
郵送にての投票。支部理事会にて選出（支部理事会はメール会議とする）

11. その他

====出席者31名（敬称略、五十音順）====

《評議員》

石原昌英
岩清水由美子
木原謙一
木原誠
國崎 倫
黒木隆善
園田暁子
高森暁子
田中公介
谷口秀子
中島久代
前田雅子
村尾治彦
大和高行

《理事（評議員を含む）》

鵜飼 信光
大橋 浩
木下善貞
高野泰志
高橋 勤
鶴田 学（事務局）
西岡宣明
虹林 慶
早瀬 博範（編集委員長）
福田 稔
山田 英二（支部長）

《事務局》

秋好礼子（事務局長）
竹安 大
渡部 智也

《編集委員》

岡本太助
後藤美映
宮原一成

《その他》